

令和2年度第1回加美町総合教育会議議事録

開催日時 令和2年4月30日（火曜日）
午後1時00分～午後2時15分

開催場所 加美町役場宮崎支所2階第二会議室

出席者 加美町長 猪股 洋文
加美町教育委員会 委員 大場 幸 同 委員 田中 美知子
同 委員 鎌田 稔 同 委員 大宮 信彦
同 教育長 早坂 家一

事務局 総務課長 佐藤 敬 教育総務課長 二瓶 栄悦
生涯学習課長 上野 一典
教育総務課長補佐 伊藤 一衛 同教育総務係長 越後 靖之
同教育総務課専門監 滝野澤 俊史
同教育総務課指導主事 太田 明子
総務課長補佐 遠藤 伸一

議 題

- (1) 中学校統合について
 - (2) 新たな教育等に関する大綱の策定について
-

午後1時00分 開会・開議

○佐藤総務課長

只今から令和2年度第1回加美町総合教育会議を開会致します。開会にあたりまして、猪股町長よりごあいさつをいただきます。

○猪股町長

令和2年度第1回加美町総合教育会議を開催しましたところ皆様方にはお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

教育委員さん方においては、それぞれの立場で教育の推進にご協力賜りまして心から感謝申し上げます。

教育委員会事務職員の皆様においてもコロナウイルス問題や学校統合に関し、熱心に取り組んでいただき感謝します。

本日は学校統合の問題、また新たな教育等に関する大綱の策定についてご意見を賜りますが、その前にこのコロナウイルス関係ですが昨日2例目が発生しました。

1 例目の方の濃厚接触者です。小・中・高校生、幼稚園・保育園児はいないということです。学校の再開が連休明けできるのかと、教育長とも度々話しをしておりますが、実はガイドラインがありません。どういう状況ならば学校が再開できるのか、どういう状況になったら学校を臨時休校しなければならないのか、ガイドラインがありません。今、町としてのガイドラインを作っております。もっともこの点については、国・県が連休明け以降の学校再開について、どういった方針を示すかというのがまず大事で、町としては子どもたちの教育の機会というものを確保したいという思いがありますので、一定の条件がクリアできれば学校を再開したいと思っております。経験したことがないような状況での判断ですので、長期戦が予想されますので、よく言われますが、コロナウイルスとの共存をどうしていくかということこれから考えなければなりません。皆様のご意見を賜りながら統合問題、コロナ対策、教育大綱を策定したと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

○総務課長

ありがとうございます。総合教育会議ですが、前回1月28日に開催しておりますが、その際、今回は3月ということでご案内してところですが、このコロナウイルス関係もございまして4月になりましてことについて、事務局よりお詫びを申し上げます。

それでは議題に入ります。ここからの進行については猪股町長にお願いします。

(1) 中学校統合について

○資料「小野田中学校と宮崎中学校の統合時期の延期について」により

二瓶教育総務課長より説明。

小野田中学校と宮崎中学校の統合に関しては加美町立中学校再編検討委員会より、「再編時期は令和4年4月1日の開校を目指すこと」と答申、本来であれば令和2年4月には統合準備委員会を立ち上げ各種調整を図ることとしていた。しかし、新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向にあり予断を許さない状況のなか、生徒の交流はもとより統合準備委員会を設置することもできない状況下である。これらのことから検討委員会から答申された統合時期について、子どもたちや保護者の健康と安全を第一に考え、再度検討するものとなりました。

見直し内容として、統合時期を1年延期し、令和5年4月1日の開校を目指すこととするということで、「校舎の位置」や「統合後の学校の在り方」については答申のとおりとするものです。

見直しの理由としましては、加美町では新型コロナウイルス感染症への対策は危機管理上重大な課題であるとの認識のもと、令和2年4月1日に新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく「加美町新型インフルエンザ等対策本部」を設

置し、町民の生命を守るため総力を挙げて対策を講じています。しかしながら、宮城県内においては、感染者が増加の一途をたどり、県は「感染初期」から「移行期」に深刻化したと判断し、各市町村教育委員会に対して学校の臨時休業を要請したところです。加美町教育委員会では県の要請を受け、4月15日から5月6日までの22日間、町内の全小中学校を臨時休業することとし、併せて、部活動の禁止も各学校長に指示したところです、加えて、学校のみならず、伝統行事の初午まつり始めとした各種イベントの中止や屋内で多くの人に参加する会議等の中止または延期の措置が講じられています。学校においても授業参観やPTA総会は中止されている状況です。新型コロナウイルス感染拡大の不安が拡大し、終息の見通しが立たない中で2年間の準備期間を設けることは困難な状況にあります。

具体的には「統合準備委員会を設置できる状況ではない」ということで、小野田中学校と宮崎中学校の統合に関しては、円滑な統合を行うため両校の教職員とPTA、地域住民を中心とした「統合準備委員会」を設置し、校名や校歌等などの決定、開校・閉校の式典等の準備を予定していましたが、前述のとおり会議等を開催できる状況ではありません。

次に、「児童生徒の交流ができない状況ではない」とうことで、生徒の学習環境や生活環境、教職員との関係等が大きく変化するため、新たな生活に戸惑いが生じることがないように生徒同士の交流、合同授業、部活動の合同練習等を予定していましたが、前述のとおり交流等を実施できる状況ではありません。

次に「一部の保護者等から統合の理解を得ていない」とうことで、宮崎小学校の保護者、特に旧旭小学校の保護者から中学校統合に理解を得ることが出来ていません。統合に関しては理解を示す保護者もおりますが、校舎の位置や統合時期については納得していただけていません。

特に、令和元年4月1日に宮崎小学校と統合した旧旭小学校出身の6年生が中学校3年生時に再度統合になることへの不安から令和4年4月1日の統合を延期してほしい旨の意見も寄せられているところです。

学校統合は、子供たちの教育環境の充実を第一義として行うものですが、答申で示された「安心・安全で魅力ある学校づくり」の実現には、保護者並びに地域住民の理解、協力は不可欠です。

宮崎小学校の保護者に対しては、多くの保護者が集まるPTA総会で再度、説明を予定していましたが新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止になり、今後も説明会を開催する目途が立っていません。

今後の対応としては、去る4月16日の教育委員会において統合時期延期の確認をいただいているところです。次に本日総合教育会議において町長と協議調整、それを踏まえまして、5月8日の議会全員協議会において、この内容をご説明する予定にしております。その後検討委員会へ書面にて延期を伝え、広報紙で周知を

図りたいと考えてます。その後、新型コロナウイルス感染拡大の終息後に、関係小中学校の保護者を対象に改めて説明会を開催し、理解を得たいと考えております。

その後、終息後ですが、中学校区単位での住民説明会を開催していと考えております。

以上です。よろしくご協議願います。

○猪股町長

校舎位置、統合後の学校の在り方については答申どおりですが、統合時期を1年間延期するということです。皆さんから何かありませんか。

○早坂教育長

令和4年4月1日開校を目指して、保護者、地区住民に説明会等してましたが、2月末からこの新型コロナウイルス感染症の関係でストップしてしまいました。また統合準備委員会を設置することができない。統合に向けて子どもたちの交流は非常に大事だ。交流が出来る状態でない。そうすると検討員会からいただいた答申の中で開港時期については1年延ばさざるを得ない。場所と学校の在り方については答申のとおりで、一度説明会をやって理解いただいた保護者の方々には申し訳ないですけど、こういう状況であることを理解してもらえないのかなど。

○猪股町長

教育委員会で意思決定したといことですね、

(2) 新たな教育等に関する大綱の策定について

○資料「加美町教育等の振興に関する施策の大綱(案)」により

佐藤総務課長より説明。

○総務課長

前回1月28日の総合教育会議において素案をご審議いただいたところですが、その際に様々なご意見をいただきましたので、その意見を加えながら案として纏めさせていただきました。

大綱の実施期間は令和2年度から5年度までの4年間。基本理念は町民憲章の全文を人づくりの基本としてます。これに基づき基本的な方針として4つの方針を掲げ、また具体的な内容ということで示させていただいた内容としております。皆さんからご意見をいただきまして、出来れば本日大綱の取りまとめをお願いできればと思います。

○猪股町長

前回の意見を踏まえての案ということです。ご覧になってどうですか。

○大宮委員

令和2年度から4年度までの長期にわたってのものなので、私としては具体的な内容までは入れなくてもいいのかなど。もう少し大きな目標を掲げて、例えばトイ

レの洋式化とか細かいところまで入れなくてもいいのかなと思います。

○早坂教育長

関連で、先ほど教育委員さんと話したのですが、4年間のスパンということなので、教育理念があって、それを実現するために方針、柱を進めていくというような、方針で留めていいのかなと思います。方針に基づいた具体的なものはどうするのかとなれば、「加美町の教育」とかで具体的に示せばいいのかなと考えます。

○猪股町長

4つの方針はどうですか。

○大宮委員

もう少し分かりやすい言葉の方がいいのかなと。

○猪股町長

「学びのセーフティーネット」「SDG s」とかですか。

○早坂教育長

子どもの貧困とか特別な支援を要するこどもたちとか、いじめ、不登校とか、小・中学校の段階で集団生活に入っていけない、そういう子供たちを早めに把握してその子供たちにあった支援をしていくという意味合いです。「学びのセーフティーネット」漠然としてますが。

○猪股町長

「SDG s」については、世界全体で取り組んで行こうということで、加美町も関係ないということではなく、「SDG s」の理念で取り組むことが大事ですが、もう少し表現を文言を分かりやすく考えます。

方針の2ですが「自己肯定感」ですが「意思決定力」というのを入れた方がいいかなと。日本の場合は子どもの頃から自分で物事を決定していくことが少ないような気がします。小さな自己決定の積み重ねがありません。なので指示待ち人間になってしまいます。意思を決定する力が非常に重要なんだろうと思います。

○鎌田委員

方針はビジョンで、どういう人づくりをしたいのか、方針については、もう一度具体的な内容に書いてあるものと、基本理念に書いてあるものと、整合性を図りながら、具体的なビジョンが見えるような方針であれば更にいいのかなと思います。

先ほど大宮委員が言ったように細かいところは除いてもいいのかなと思いました。

○大場委員

方針2ですが、「自己肯定感を持ち」とありますが、自己肯定感を持つのでなく、体験して達成し感じるものだと思います。3ページの「児童生徒が自らの人生を切り開く」の文言を使った方がいいのかなと思います。

○猪股町長

そのために自己肯定感が大事です。

○大場委員

自己肯定感を持つということは達成感です。

○猪股町長

自己肯定感は達成感イコールではありません。小さな達成感を積み重ねることによって自己肯定感が高まる。

子どもたちの生きる力のベースになるのは自己肯定感だと思うのですが。

○早坂教育長

いろいろな体験をとおして、積み重ねて自己肯定感が育むのだと思います。それが、次も頑張ろうという挑戦への大きな力になるのかなと思います。

○鎌田委員

方針2ですが、最終的に文言が「教師の指導向上を図ります」となっている。「子どもたちが自ら学び自ら考え自ら未来を切り開く力を身に付けます」とか、そういうような方向でいいと思う。やはりビジョンを盛り込んで。

○早坂教育長

方針の中にいろいろな要素が入り込んでいるので、そこの整理になるのかなと。

○猪股町長

方針2の「インターネット」とか「ICT」とかはビジョンとして、コロナの関係で正に社会がテレワークとかオンライン学習だったり、急速に進んでいます。そういう学習なり、むしろビジョンとして盛り込んではどうでしょうか。

○田中委員

方針1の家庭や地域との連携ですが、例えば地域とはどういうイメージなのか。最初に思ったのは両親の価値観と色々な人に育ててもらおうという様々な価値観を持った大人に育ててもらおうということで、「地域」をどう考えるか。

○猪股町長

ここで言っている地域は幼・小・中、こども園・保育所も含めた中で、「地域」の捉え方が変わってきます。小学校であれば小学校区単位でこども園にとってはもっと狭い。

○早坂教育長

地域との連携、子供達と地域の人だったり、行事だったり、物だったり、自然だったり、それとの関わり合いではないのかなと思います。

人・自然・文化、それらに触れることによって地域の人だったり、行事だったり連携しないとできないので、双方向での関わり合いだと思います。人だけでなく、自分が生まれた、育った地域の良さとか大事なのかなと。

○猪股町長

それでは、どういう人づくりをしたいのか、ビジョンとしてもう一度方針をまとめさせてもらいます。

○総務課長

本日色々のご意見をいただきましたので、それを踏まえて再度整理しお示しいたしますので、ご意見を頂ければと思います。

○猪股町長

今日の議題は以上ですが、他にありませんか。

○早坂教育長

昨日新たに感染者がでたとうことで、そこから2週間様子をみるということで、5月11日まで臨時休校する予定です。予定というのは今後国の緊急事態宣言がどうなるかということと、県知事から県立学校の臨時休校が延長になったときに市町村まで要請がくるのか、市町村の判断でいいということであれば、12日から再開、もし、知事から県立と合わせて休校してほしいと要請があれば、そうしなければならないのかなど。またこども園、幼稚園、保育所もどうするか、放課後児童クラブも同様、それから社会教育施設も同様な対応になると思います。もし臨時休業延長の要請があったとしても、12日以降は登校日を設けて健康状態の確認や、場合によっては指導したりとか、あと、今、学校、教員ができることを考えて、感染予防をしっかりとやりながら、出来ることを子どもたちのためにやっていきたいと考えています。

○鎌田委員

休園とか休所を家庭で出すタイミングを足並みを揃えてほしい。

○猪股町長

他にありませんか。

○大場委員

町長にお願いしたいことがあるのですが、これからのことですが、「私たちの加美町」という副読本がある。仮に里山教育と呼ばせてもらいますが、加美町の生の声、町長講座が出来ないかなど。子どもたちに加美町の良いところは何か知っているかと尋ねると、あまり答えられない。町長の生の声を「里山教育」という名称でも私が勝手につけたのですが、出来ないかなど、考えて頂きたいです。

○猪股町長

喜んでしたいと思います。

実は中新田中学校はずっとやってます。8年位やってます。

今年2月ですかね古川高校から依頼があって、公務員を志望している古高生に話をしました。

話しをすると、おそらく子どもたちは、町はこんな取組をしてんだと、はじめて分かります。それは大事だなと思っております。是非、私時間をとりますのでよろしくをお願いします。

○大場委員

中新田中学校であれば、小野田・宮崎のことが分からないと思います。こういう良いところがあるとか、昔はこうだったとか、学校の先生はここで生まれ育ってな

いので分からないと思います。ぜひ、そういうお話しをしていただければと思います。身近な町のリーダーからのお話しを聞くというのは大事だと思います。

閉会

○早坂教育長

ご協議ありがとうございました。コロナの影響がありますが、何とか令和4年統合を目指しておりましたが残念でなりません。1年延期ですが着実に進めていきたいと思います、また大綱については再度今日のご意見を生かしながら策定したいと思います。

コロナの感染症対応で、やはり我々は普段の生活習慣が大事だと改めて思います。今までの生活を振り返って我々から正さなければならないのかなと、子どもたちに背中を示さなければならないのかなとっております。健康にはくれぐれも気を付けてください。

本日はご苦労様でした。